

「Overseas Internship in モンゴル 2022」 募集要項

1. 趣 旨

九州大学教育学部のアジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート（教師、教育行政官、研究者）の養成が、本取組による人材養成像である。

2. 応募資格、募集人数

九州大学教育学部／大学院人間環境学府教育システム専攻の正規課程の学生で、アジア教育に関心があるもの。3名程度を募集する。

3. 派遣先大学及び派遣先機関

【モンゴル・ウランバートル】モンゴル日本人材開発センター（教育学部協定先、MOU 締結済）

4. 日 程

9月7日(木)-9月24日(土) 16泊17日（予定）

5. 概 要

モンゴル日本人材開発センター（以下、「日本センター」）は、JICA および国際交流基金の支援のもと、モンゴルにおける日本の総合的な情報発信拠点として、モンゴルの市民向けにビジネスセミナー、日本語教育、日本の文化紹介、日本留学に関する情報提供をはじめ、種々の日本関連イベントを実施しています。日本センターではグローバル社会で活躍を希望する大学生の就業体験を目的として、日本の大学生のインターン受入事業を行っています。日本センターにおける就業体験は、インターン生が国際協力の仕事への理解を深め、かつ異文化体験を通じて国際性を育む機会となるものです。なお日本センターには5名の日本人専門家がJICA及び国際交流基金から派遣されており、またモンゴル人職員の大半が日本語で業務を行っているため、日本語で就業体験が可能です。

6. 受け入れ手続き

学生の履歴書・志望理由書を提出いただき、センターで受入の可否を決定いたします。日本センターと大学間でインターンシップ協定を締結のうえ、受入を実施します。

7. 受け入れプログラム

(1) オリエンテーション

日本人専門家およびセンター職員による下記オリエンテーションの実施

1 日本センター事業紹介 2 安全講習 3 モンゴル文化紹介 4 初歩モンゴル語講座

(2) ビジネス課・日本語課・図書交流課における就業体験

インターン生の希望・関心に基づく各課での就業体験プログラム

1 ビジネス課 :ビジネスコースのセミナー聴講、企業訪問への随行

2 日本語課 :日本語授業の聴講・参加、教材作成支援

3 図書交流課 :図書室業務、日本語学習者との交流イベント

(3) 国際協力現場視察 在モンゴル日本大使館、JICA 技術協カプロジェクト、青年海外協力派遣隊の派遣先など、日本の国際協力の現場を訪問しレクチャーを受けます。

その他にも日本センターで実施される各種イベントの機会にはインターン生に積極的に参加していただきます。

8. 費 用

1名につき30,000円（受入プログラム開発費として）※この費用には航空賃・現地滞在費用・海外旅行保険料、現地でのPCR検査代金は含まれません。総額25万から30万円ほどかかる見込みです。

9. その他

本研修は、現地で学生自身が行うものであることを理解して、申し込んでください（往路のみ、教員が関与する可能性はありますが、全日程で教員は随行しません）。日本センターに近いリーズナブルなホテルをはじめ種々の情報をご提供いたしますが、飛行機予約、空港送迎・ホテルの手配、PCR検査は学生ご自身で行っていただきます。

10. その他、単位認定など

本事業「海外インターンシップ」は「Overseas Internship I・II」として単位認定を行います。1年生が参加した場合の単位認定はありません。

11. 奨学金など

審査や諸条件により、九大基金（6万円）、および、JASSOの協定派遣（6万円）の奨学金が本事業に適用される可能性があります。詳しくは、申込時に確認してください。

12. 申し込み期限と申込先

申し込みを希望する場合、保護者へ学部からの案内を見せ、十分に実施の趣旨とリスクを認識していただいた上で、申請書と志望理由書、誓約書を添えて、6月28日(火)までに、人文社会科学系学務課（教育学部担当）窓口まで提出ください。

13. 問い合わせ先

不明な点があれば、問い合わせください。

木村 拓也 教授（教育学部 教育社会計画学講座 教育社会学研究室）

kimura.takuya.329@m.kyushu-u.ac.jp